

石原の農薬 混用事例

混用事例についての注意事項（※必ずお読みください）

- この混用事例表は使用者が混用する際の目安となるように、物理化学性・薬害等の試験例・事例を参考にまとめたものです。混用事例を紹介するもので、混用を薦めるものではありません。あくまでも参考事例ですので、使用にあたっては各薬剤の登録内容を十分確認のうえ、ご使用ください。
- 全国的に見た一応の目安として作成しており、地域・産地で経験や知見がある場合は本表より優先させてください。
- 混用事例の記号の意味については別記の通りです。混用において問題が生じる場合や知見が少ない事例（空欄）については、原則行わないでください。
- この混用事例表は、登録の範囲の希釈濃度で、できるだけすみやかに散布を完了することを前提として作成しています。
- 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があります。
- 塩化銅・硫酸銅のように、成分名で一括表記した薬剤は、個々の薬剤について登録の有無を確認してください。また、これらの成分名一括表記薬剤との混用事例は、必ずしも全ての登録銘柄との混用事例を表すものではありません。
- 不明な点は専門の技術者に相談してください。また、混用にあたっては各薬剤の製品ラベルをよく読んでください。相手剤の登録を保証するものではありませんので、最新の登録内容を順守してください。

※ 混用事例は年に1回の頻度で更新しております。

記号の説明

- ：混用して問題なかった
- ◎：使用直前の混用なら問題なかった
- ：混用で凝集するが、攪拌すれば散布に問題なかった
- △：物理性、効果低下などの点で問題がある
- ▲：薬害の点で問題がある
- ×：混用できない
- 空欄：表記するに足りる知見や経験に乏しい



